

第2回狛江市総合基本計画審議会会議録

- 1 日時 令和6年6月18日(火)午後7時00分～午後8時10分
- 2 場所 第一委員会室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁
- | | |
|-----------|----------|
| 委員 五十嵐 太一 | 委員 太田 圭一 |
| 委員 大村 充男 | 委員 梶川 朋 |
| 委員 加藤 雅江 | 委員 強瀬 理一 |
| 委員 酒井 淳子 | 委員 佐藤 吉則 |
| 委員 鈴木 京子 | 委員 平谷 英明 |
| 委員 渡辺 秀貴 | 委員 平林 浩一 |
- 事務局 高橋企画財政部長 杉田政策室長
中村企画調整担当主査 宇野企画調整担当主任
大久保企画調整担当主事

4 欠席者 委員長職務代理者 馬場 健司

5 議題

1. 狛江市総合基本計画審議会及び狛江市基本計画策定分科会のこれまでの経過について
2. 狛江市基本計画策定分科会各分科会における現段階までの報告について
3. 前期基本計画における指標の推移について
4. 今後の予定について

6 会議概要

議題1 狛江市総合基本計画審議会及び狛江市基本計画策定分科会のこれまでの経過について

－事務局より資料の説明－

議題2 狛江市基本計画策定分科会各分科会における現段階までの報告について

－各委員長より資料の説明－

【委員長】

各委員長の説明に対する御質問・御意見等あるか。

【委員】

第3分科会について、中高生の居場所が必要であるという議論があったようだが、具体的にはどのようなイメージか。

【委員】

意図的に集まることのできる施設が必要ではないか、という意見があった一方、社会環境からすると～ねばではなく、その世代の考え方を尊重する必要があるのではないかと考えた。

【委員】

具体的には市民センター改修に当たり、ティーンズルームが設置される予定であるため、中高生世代の居場所としての活用が期待されているが、そういった場所を充実していくのが必要であるという議論がなされた。

【委員】

男女共同参画の関係で、資料3の1ページ委員一覧を御覧いただきたい。委員に女性が不在であったため、男女共同参画の観点から形式的にどうかと思っていた。ずっと疑問を持ちながら進めていたのだが、女性の視点がないと、防災・防犯、都市整備、緑について漏れがあるのではないかと。やりようがないとは思いますが、色々な意見を聞きながら進めていたのだが、その点について懸念していたところである。

【委員長】

避難場所について、女性の視点が必要であるため、女性委員がいた方がよかったように思う。

【委員】

所属する安心安全なまちづくり推進審議会に女性委員がいるため、防災に関連した話を聞くことがあった。数年前の水害の際にも、避難所で女性の意見を取り入れたり、女性がテキパキと動いていたという話があったので、1つの意見として。

【委員】

第3分科会の関係で狛江の資源について、絵手紙の活用や名誉市民の木村監督の協力については、具体的に議論されたか。

【委員】

絵手紙についても取り上げ、継承や周知が必要であるという議論がなされた。

【委員】

木村監督は映像美が素晴らしい。そういう視点から見たら、狛江の良いところを見つけられるのではないと思う。

【委員】

文化財の保管や多くの方に触れていただくという記述に関連して、狛江ならではの文化について継承が大事であるという話があった。具体的には小学校で市民をゲストティーチャーとして招き、義務教育段階で直接触れる機会等を大切にしていく、ことになるのではないかと。

【委員】

数年前に狛江のよいところを見つけようということで、俳句の吟行をやった。泉龍寺、狛

江弁財天池特別緑地保全地域、むいから民家園、西河原公園、水神社、万葉歌碑等、結構見る所があるのではないかという話になった。俳句の先生が書いた吟行記があるので、参考までに見ていただければ幸いである。

【委員長】

文化財がいろいろあるということをも市民、子どもたちが知ることによって市に愛着を持つことにより、更にまちを良くしていこうというシビックプライドにもつながるものではないか。

【委員】

第1分科会でも触れた内容だが、狛江のロケーション自体は良い。調布市は映画のまちとすることからも、映画やテレビ、アニメの舞台として誘致をしていくことで、世代を超えて狛江を知ってもらえるため、積極的に取り組んだ方がよいのではないかと思う。

【委員長】

市にフィルムコミッションはあるのか。

【事務局】

狛江ロケーションサービスで撮影の受注や、市内店舗をロケ弁当としてあつ旋している。

【委員】

映画のテロップ等を見ると埼玉と関係ない映画だが、埼玉が撮影で使われているといったことがあるので、そのような取組ができないかと思った。

【事務局】

市役所庁舎内も撮影で使われている。撮影場所を冊子としてまとめている。

【委員】

まず、狛江のブランディングを先にしたことで、誘致につながった方が利用されるのではないか。それはどこで考えていくのか。この会議体で提案ができるならそれもよいのでは。

【委員】

多摩川周辺が売りであるため、狛江の売りを作りアピールしていく必要があるが、何を売りにするかを考える必要はある。

【委員】

狛江の資源をブランド化・具体化するときは、民間委託していくのか。狛江をどのような形で売り出していくのか、ブランディングは専門家が行うべきだと思う。その上で、スタンプラリーを行ったり、マップを作成することで、市民の誇りにもつながっていくのでは。市役所職員が自ら行うのは難しい。

【事務局】

現在は職員が行っている。市役所職員では気づかないこともあるため、外からみることも良いことだと思う。

【委員】

せつかくやるのであれば、質の高いものが良い。専門的なスキルは細分化する時代である

ことから、委託等でブランディングについていくつか提案してもらい、その中から選択するのはどうか。

【委員】

子ども若者居場所の話にも関連するが、子ども・若者の意見を聞かないと使ってもらえない。ブランディングや広報の仕方に若者なりの意見を取り入れたり、検討し始めている子ども条例に子どもの権利として子どもの声をあげていく場を作っていくという視点も良いかと思うので、委員会に持ち帰りたいと思う。

【委員】

数年前に市では若手の職員を中心に未来戦略会議を開催し、その後未来戦略室を設置したという経緯がある。未来戦略室を中心に市の魅力を高めることについて実践・発信を行っているが、その取組みが市民に周知され広がっていくと良い。

また、市民福祉推進委員会に携わっているが、地域共生社会推進基本計画として、縦割りの事業を横でつなぐことは、全国的に見ても先進的な取組であるため、市民に分かりやすく発信していくことが必要である。分野ごとにどのような狛江の魅力があるのか発信できると良いと思う。

【委員長】

長く住む市民は気づかないが、外から見ると価値があることもあるので、外からの視点も併せて、市の魅力を見つけていくことが重要ではないか。

【委員】

専門家によるブランディングに関連して、ブランディング後のプロモーションについても、専門家の視点を入れられると良い。

【委員長】

藤枝市では大学生が情報発信する取組がある。

【委員】

第1分科会で議論された施策3-①魅力の創出・向上・発信が、第3分科会の施策6-②の芸術文化・スポーツの振興とも重なり合うということがわかった。今後分科会における方向性等の具体的な議論に当たり、他の分科会で関連して話が出ているということがわかりやすくまとめられていると良い。

議題3 前期基本計画における指標の推移について

－事務局より資料の説明－

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

本資料の分析や読み方の解説はいただけるのか。

【事務局】

分科会で資料を提出したい。

【委員】

該当分野以外についても見たい。

【事務局】

全体の資料をお見せしたい。

【委員】

具体的にいうと、資料5の17ページ生活困窮者への支援として、就労支援プランを作成し就労・増収につながった人の割合が低い、18ページ生活保護が廃止できている世帯がいること等について、生活保護世帯は自立できるが、困窮者は自立しにくい要因があるのか、といった資料はもらえるのか。

【事務局】

確認する。

【委員】

これらの指標の達成状況としては、どのような形で市民に公表されるのか。基本計画推進委員会の報告書として出されるのか、後期計画の中に評価が掲載されるのか。

【事務局】

基本計画推進プランの報告書として作成しており、毎年度進捗状況報告書として報告している。令和6年度末の数値については、令和7年度上旬に報告書として作成する。

【委員】

地域コミュニティに関する数値はないのか。昨年1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合が、コロナ禍で落ちているが、回復しきっていない状況にある。防災に関する数値は水害等が発生した際には意識が高まることがあるが、数値として上がらないのは、コミュニティの組織率等が低下し、呼びかけができていないことが要因ではないかと思うが、コミュニティ関係の推移が分かる数値等があるとよい。

【事務局】

町会・自治体の加入率の推移データは出せると思う。

【委員長】

目標値について、施策ごとにこれだけは達成するという限界値基準であったり、将来的にこうありたいという期待値基準を設けているところもあり、施策によって、担当課と事務局で相談して出しているということであるが、明らかに達成できそうな数値、達成が困難な数値等がないか精査いただきたい。

【委員】

治安のよいまちだと感じる市民の割合について、令和4年の治安の数値が下がっているが要因はあるのか。

【事務局】

市内で発生した強盗殺人事件が要因ではないかと考えている。

【委員】

指標の達成・未達成の要因分析はだれが行い、どのように生かすのか。

【事務局】

庁内で分析を行い、年度ごとに報告書を作成しているため、年度ごとに公表する。

【委員】

指標については要因分析をした上で、後期基本計画の方向性を考えていくと思うが、どのタイミングで分析したものを後期基本計画の方向性検討に活用するのか。

【事務局】

7～9月に各分科会で施策の方向性を検討いただく。指標については、施策の方向性に対する指標となるため、指標の目標年度は6年度末であるが、5年度末での段階の数値で分析を行う。指標の算出方法等の情報とあわせて資料としてお出ししたい。

議題4 今後の予定について

－事務局より資料の説明－

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

総論としてまちづくりの視点等はどの部署が担当して編集するのか。

【事務局】

まちづくりの視点は第4次基本構想に係る部分となるため、今回変更予定はない。

【委員長】

その他特に意見等なければ、第2回狛江市総合基本計画審議会を終了とする。